

01 歴史文化学科活動報告

歴史文化学科創設15周年記念のつどい

2015年12月23日、歴史文化学科創設15周年記念のつどいが開催されました。退職された教員のうち、村岡健次先生、後瀉雅生先生、宮城公子先生、川合清隆先生、堀直先生、横山良先生、ロサリア・アピラ・タピエス先生をお迎えすることができました。また、多くの卒業生や在校生も参加しました。ひとときの時間でしたが、かつて学んだ時のことを懐かしく思い返す機会になったと思います。盛況でとても良い会となり、みなさまに感謝しています。(鳴海邦匡)



2016年度 歴文新歓遠足@みんぱく



2016年4月9日(土)、歴史文化学科の新入生の基礎演習として新歓遠足が行われ、1年生、2、3年生ポーター、教員で大阪万博公園内の国立民族学博物館へ行きました。館内では、基礎演習のクラス毎に展示ブースを振り分けて、発表を行いました。午前中は、まだ出会って数日の仲間と発表という課題にぎこちない様子でしたが、お昼をはさむと1年生側から案が多く出され、最終的に各班ごとの個性が詰まったまとまりのある発表となっていました。今回の遠足が1年生達の思い出の一つとなっていれば成功でしょう。(2年生・伊集院梢)

歴らぼ通信の刊行は、これで6号となりました。歴らぼ通信では、歴史文化学科における様々な活動を紹介しています。通信に記載される記事の多くは、ホームページ「歴らぼのWEBサイト」(<http://www.konan-u.ac.jp/hp/rekibun>)でも紹介していますので、そちらもご覧下さい。

02 歴らぼ活動報告

歴らぼ古代史班@岡山：佐藤先生と古墳めぐり

歴らぼ古代史班は、2015年12月13～14日、岡山の古墳を見に行きました。岡山には5～6世紀頃に造られた古墳が多数残っており、今回のメインである造山古墳は、県下第1位、全国第4位の規模を持つ前方後円墳です。実際に見ると「造山」という名の通り山と見間違えるほどの巨大な古墳で、その大きさに圧倒されました。他にも横穴式石室を持つこうもり塚古墳など、様々な古墳があります。また今回は、備中高松城跡や国分寺跡などの史跡を見学したほか、足守荘の旧道を歩きました。旧道付近の地形を描いた絵図と実際の風景とを照らし合わせてみると、色々な発見があり、岡山・吉備の歴史を知る貴重な機会になりました。(4回生(2015年度)・坂上方哉)



歴らぼ地図班@篠山プロジェクト



「歴らぼ地図班@篠山プロジェクト」は、甲南大学地域連携センター(KOREC)が支援する平成27年度「地域連携支援プロジェクト」の支援を受け、篠山市教育委員会所蔵の青山家文書の絵図の調査を実施しました。今回、これらの調査成果とこれまでのデータを合わせる形で目録を整備し、『篠山市教育委員会所蔵 篠山藩青山家文書：近世絵図目録』(2016年1月刊、鳴海邦匡・森本あかね・椿野祐太・吉田知敬編)としてまとめました。この目録は、2016年1月27日に教育委員会に寄贈され、当日、その様子や資料について新聞記者の取材を受けました。私達の活動が、資料の活用や保存に少しでも役立つことを願っています(4回生(2015年度)・森本あかね)。

歴らぼ世界遺産班@法隆寺へ！

歴らぼ「世界遺産班」が、2016年3月10日(木)、法隆寺と中宮寺を見に行きました。世界最古の木造建築で有名な法隆寺の境内、伽藍配置が絶妙です。また、仏像、玉虫厨子など、たくさんの国宝を間近で見ることができるのも、このお寺の魅力です。帰りには、門前の茶店で、法隆寺のすばらしさについて語り合いました。せっかくの大学生活、友人や先生と一緒に行って、ワイワイガヤガヤと話しながらか見るのも、楽しいものです。(高田実)



歴らぼ活動の登録

「歴史文化らぼ」(通称：歴らぼ)は、歴史文化に関わることを実践的に学ぶ場として、歴史文化学科で実践する活動です。この活動は、学生が主体的に教員と共同で実践する場として2013年度より設けました。現在、いくつかの活動が実施されていますので、気軽に参加してみてください。実施中の活動は、学科図書室入り口横の掲示版などに掲示しています。また、新たに活動を立ち上げることもできますので、サポートの教員とも相談のうえ、貼付の登録カードと掲示ポスターを作成し、鳴海まで提出して下さい。

03 卒業論文：2015年度

坂上方哉（東谷ゼミ）：長州奇兵隊の役割と組織体制－『奇兵隊日記』の分析から－

幕末長州藩の部隊である奇兵隊は、身分に関係なく「志」があれば入隊できたという画期的な部隊であった。この特徴をもって「奇兵隊は四民平等観に基づいた近代的組織である」というような評価がなされることも多い。しかし実際には、身分ごとに服装規定が設けられるなど、四民平等とはかけ離れた側面も存在していた。奇兵隊は、どのような組織であったのか。本稿は『奇兵隊日記』を基本史料とし、それが明治維新後に編纂されたという史料的制約を考慮に入れつつ、創設者である高杉晋作の動向や、総管・赤禰武人らの人的ネットワークの変遷などを基に、隊組織の再検討を行ったものである。

画像：奇兵隊三代目総管・赤禰武人（1838～1866）



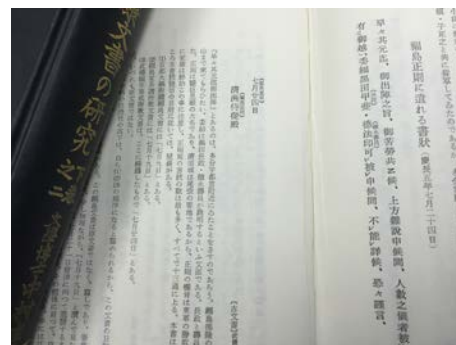
南菜摘（佐藤（泰）ゼミ）：平安時代の婚姻儀礼—正妻の決定



平安時代の一夫多妻制において、正妻がどのようにして決まるのかという疑問を持ち、それをテーマにしました。まず婚姻について詳細に知るために、当時の日記などを用いて婚姻儀礼の移り変わり、儀礼の構成要素について調べました。そして、それを踏まえて物語の描写から正妻がどのようにして決定されているのかについて考察しました。その結果、正妻の決定には親の後見の有無と周囲の認識が大きく関わっているのではないかと分かりました。

丸尾愛（佐藤（泰）ゼミ）：小山評定の検討

小山評定とは、慶長5年（1600）7月25日、関ヶ原合戦の直前に下野国小山で開かれたと言われる軍議である。徳川家康を中心とする東軍が形作られるために不可欠といえる小山評定であるが、近年になって存在しなかったのではないかとという新たな問題提起がなされるようになってきている。小山評定は実在した出来事であったのか。本稿では徳川家康が諸将へ宛てた書状や『慶長年中ト斎記』などの史料を検討することにより、小山評定の実態を探った。



04 ゼミ活動報告

鳴海ゼミ旅行@名古屋



私たち鳴海ゼミは、2015年11月下旬、名古屋へ巡検に行きました。名古屋の歴史と産業を知ろうということで、初日は名古屋城、熱田神宮、オアシス21を訪れました。名古屋城では、敵に攻められにくいような城造りや、生で見る金のしゃちほこに感動しました。2日目は、豆福で豆菓子の工場見学、末廣堂で名古屋扇子の絵付け、トヨタ産業技術記念館での見学を行いました。豆福は、たった3人ほどで豆菓子を製造しており、大変びっくりしました。名古屋は、様々な分野の歴史が残りつつも、名駅周辺は高層ビルが立ち並ぶ都会でした。また、味噌煮込みうどんや名物のモーニングなど、食べ物おいしい街でした。（2回生（2015年度）・中田花萌）

在外研究@ラオス（中辻亨）

2014年度の後期にラオスに半年間滞在する機会に恵まれました。今回はこれまでに収集した空中写真を使って、ラオス北部農村の土地利用の変化を明らかにすることが目的でした。空中写真は1945年以降の7時点のものを収集しています。それを分析した上で、対象地域の人々に聞き取り調査を行い、当時の状況をあざやかに描き出そうと試みました。その結果、わかったことは1960-70年代のベトナム戦争がラオスの農村にも大きな影響を与えていたことです。当時、人々は戦火を逃げ惑ったり、無理やり軍隊にさせられたり、移住させられたり、大変な苦勞をしていました。当時の人々の移住状況に関しては空中写真からも読み取ることができます。私はこれまで十数年間同じ地域で調査を続けてきたのですが、戦争時代の状況についてはほとんど聞いていませんでした。今回の調査で、ラオス農村に対する見方が変わりました。（中辻亨）



写真：ベトナム戦争時、ラオス最大の戦場となったジャール平原にて。

シンポジウム「アルプスからのインターローカル・ヒストリー」開催

2015年12月20日、甲南大学岡本キャンパス523教室でシンポジウム「アルプスからのインターローカル・ヒストリー—〈地域〉から〈間地域〉へ—」を開催しました。中近世のアルプスを舞台に地域と地域のつながりから歴史を見直す試みに、西洋史・日本史の研究者が参加し活発に議論しました。イタリアのミラノ・ビッコカ大学からおいいただいたマッシモ・デッラ・ミゼリコルディアさんは、日本の山の傍でこのような議論ができて嬉しい、と神戸・岡本の感想も残していただきました。（佐藤公美）



『「アラブの春」と音楽 若者たちの愛国とプロテスト』



このたび、アラブ世界の流行歌から中東情勢を論じる本を出しました。マムルークやアイニーだけでなく、アラブ音楽も私の大事な研究テーマだったので。テロや内戦などどうしても物騒なイメージが付きがちなアラブ世界を、等身大の若者文化からとらえ直そうというのが本書の基本スタンスです。アラブ音楽は講義でも時々紹介しているので、すっかりおなじみの歴文生も少なくないでしょう。もっとたくさん聴いてみたいという人は、YouTubeで「アラブの春と音楽」再生リストを検索してみてください。知らない国の素敵な音楽との出会いがあるかもしれませんよ。（中町信孝）

編集：松浦寛（歴らぼ編集部 3 回生）、西村伊代（歴らぼ編集部 3 回生）、水田佳菜（歴らぼ編集部 2 回生）、鳴海邦匡
発行：甲南大学文学部歴史文化学科
発行日：2016年7月11日 連絡先：〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1、078-435-2874（学科事務）